



ほけんだより



年末年始は家族でお祝いする行事が盛りだくさん！ 楽しいイベントの季節ですが、新型コロナウイルス感染症の流行につき、これまでとはちがった安全・安心な楽しみ方を見つけていくこととなりますね。

東京都は警戒レベルが最も深刻なレベル4に上がり、いつ誰が感染してもおかしくないという状況なのかもしれません。しかし、園に関わる人たちがそれぞれ気を引き締めて感染予防行動を継続し、厳しい時期をみんなで乗り越えていきましょう！

●登園の目安等について● (「園のしおり」をご覧ください)

発熱

・解熱後 24 時間以上経過し、咳・鼻水他の呼吸器症状が改善すること

嘔吐・下痢後

・24 時間嘔吐・下痢(水様便)がないこと
 ・ふつうに食事や水分が摂れること
 ・顔色もよく元気であること

★★感染予防のため保育園



からのさらなるお願いです★★★

・園に出入りするすべての方に、滞在時間は短時間、出入りする人数は最小限でいうことをお願いしています。

お子様のお迎えはすみやかにお願いします。

・発熱に関わらず、体調の悪い場合は園への出入りはおやめください。

・ご家庭内でインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等感染症の疑い・診断がされた場合(ご家庭内)、園への報告をお願いします。

咳・鼻水は今、園で一番多く見られている症状です。基本的に発熱、呼吸器症状等の風邪症状の登園はお控えいただくようお願いしています。症状の持続からゼイゼイするお子さん、発熱にいたるお子さんが増えている状況が見られています。症状がある方はまず受診してください。医師が登園 OK と言われた場合も園内の流行状況、通常保育が困難等と判断した場合はお預かりできないことがあることをご確認ください。



刷牙指導(はみがき指導)について

●日時 12/23(水)

9:30~

●対象 3~5 歳児

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため染め出しは行わず模型上での指導となります。

※ 調布市の歯科衛生士 2 名がこられます。なにかお聞きしたいことがある方は事前に看護師までお声かけください。(当日はお受けしかねます)



11月の感染症(健康状況)

- ・発熱 ……10 数名
- ・嘔吐 …… 2 名
- ・下痢 …… 2 名
- ・咳・のどの痛み、鼻水…10 数名



感染のリスクを下げながら会食を楽しむ工夫

(厚生労働省ホームページより)

12月に入り、クリスマスや冬休みなど子どもたちの楽しみがいっぱいですが、会食なども増える時期に入ります。楽しいイベントを楽しみながら、感染対策をおこなっていきましょう。

- 座席の配置は斜め向かいに。正面や真横はなるべく避ける

(食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり)

- 会話する時はなるべくマスク着用

(フェイスシールド・マウスシールドはマスクに比べ、効果が弱いことに留意が必要)

- レストランなどお店に行く際は、換気が適切になされているなどの工夫をしているガイドラインを遵守したお店を利用するようにしましょう。

- 体調が悪い人は参加しないようにしましょう。

- 箸やコップは使いまわさず、一人で使いましょう

{全ての場面でこれからも引き続き守っていくこと}

- 基本はマスク着用や三密回避。室内では換気をよくしましょう。
- 集まりは少人数・短時間にしましょう。大声は出さず会話は静かに。
- 共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

子どものやけどを防ぐには？

(政府広報オンラインより)

冬はやけどの事故が増える時期です。万が一、やけどをしてしまったらとにかく流水で冷やすこと。その後、症状によって病院で見てもらいましょう。

1. 炊飯器、電気ケトル、電気ポットなど

- a. 高温の蒸気を避ける
- b. 使用中にふたが開かない、転倒しても中身がこぼれにくい製品を使う。
- c. 電源コード、本体の置き場所に注意する



2. アイロン

アイロンを使用する際は子どもを近づかせない、使用後も十分に冷めるまで子どもの手が届かないところに置くといった配慮が必要です。



3. テーブルクロス

子どもがテーブルクロスを引っ張ったり、つまずいたりして、上に置いたスープや味噌汁等を倒して、やけどをすることがあります。熱いものをテーブルや調理台に置く際には子どもの手が届かないようにしましょう。

